

新

年明けましておめでとうございます。年頭にあたり、町民の皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

昨年は、東日本大震災・原発事故災害から10年目となる節目の年であり、除去土壌の搬出完了や相馬福島道路桑折ジャンクション・伊達桑折インターチェンジの供用開始、役場新庁舎完成など、現総合計画に基づく取り組みが結実した「復興創生の総仕上げの年」でありました。しかしながら一方で、新型コロナウイルス感染症という想定外の事態が発生したことにより、私たちの日常生活は激変するとともに、本町にあっては、各種事業の中止を余儀なくされました。そのような中、町民の皆さんの命と暮らしを守ることを最優先に、感染拡大防止策はもとより、地域経済と生活支援策を切れ目なくスピード感をもって取り組んでまいりましたが、厳しい状況は今なお続いております。引き続き皆さまには、緊張感をもって共に「コロナに打ち勝つ」べく、「新しい生活様式」の実践と定着へのご協力をお願い申し上げます。

本年は、役場新庁舎の開庁をはじめ、相馬福島道路の全線開通など、コロナ禍の中ではありますが、町民の皆さまと共に目指してきた「こおり新時代」の幕開けを迎えます。そして、その先の輝かしい未来に向かって確かな歩みを進めていくための羅針盤として、新総合計画を策定してまいります。計画期間となる向こう10年は、アフターコロナを踏まえ、さらなる少子高齢化やデジタル社会の進展など、激動の時代が予想されます。皆さまと共に「桑折らしさ」を大切に、「桑折ならではの」施策を展開し、「住み続けたい住みたいまち桑折」の実現に向け、職員一丸となって行政執行にあたってまいります。ですので、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

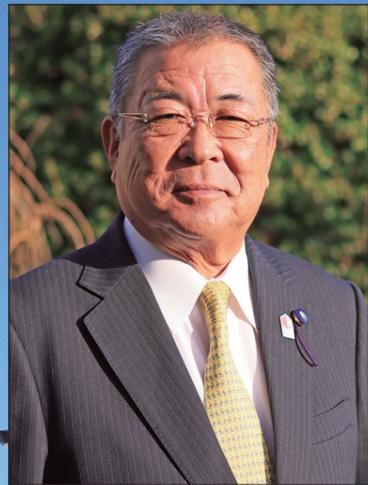
新

年明けましておめでとうございます。心よりお祝い申し上げますと共に、新たな年は全ての町民が無病息災で幸多き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスにおびやかされ、日常生活や経済に大きな影響をもたらしました。自粛による各行事の中止やコミュニケーション崩壊など、憂慮に堪えませんが、引き続き自分と大切な人の命を守る慎重な行動と感染者に対して絶対誹謗中傷のないようお願い申し上げます。一方、52億万^キ宇宙を旅した「はやぶさ2」プロジェクトに県内の大学や多くの企業が参画していたことは、同県人として誇らしく明るい出来事であり、本県復興の起爆剤につながってほしいと期待します。また、本町においても、相馬福島道路桑折ジャンクションや伊達桑折インターチェンジの供用開始、新庁舎の竣工、企業の進出など周辺環境が進展しています。今年は東日本大震災と原発事故から10年目を迎える節目の年であり、コロナ感染防止対策を講じつつ、地域社会、経済の再構築に向けて、取り組まなければなりません。また、今年には本町の10年先を見据えた「新総合計画」を策定する重要な年でもあり、人口減少と少子高齢化社会での多様な課題への取り組みが求められています。議会は、これまで各常任委員会調査活動はもとより、調査特別委員会を設置し、提言や提案を行ってきました。町民のための庁舎完成を契機に、住む人が安心して住み続けられる町づくりにため、議会としても日々変動している社会情勢を見極め見定め、町当局と議論を重ね英知を結集し取り組みでまいります。具体的各種政策の最終意思決定機関として常に町民の立場に立ち、健全な行財政運営の監視を議員一丸となり取り組んでまいりたいと思っております。



桑折町長 高橋 宣博



桑折町議会議長 片平 秀雄



New Year's greetings 2021

復興の総仕上げ

雪化粧をした役場新庁舎。町の歴史や文化、町並みなどの特色を取り入れ、桑折特有の情緒や風合いを感じさせるような外観に。